

地域

変化する街をズームアップ

コールセンター、中心街へ開設相次ぐ



顧客からの電話による各種保険手続きの受付や契約内容の照会などの対応を行っている大同生命の「熊本コールセンター」



今年1月から一部稼働開始した「JTB熊本リレーションセンター」。JTBグループの旅行予約や販売業務を行うほか、旅行に関する相談にも応じるという



05年に開設されたテレマーケティングジャパンの「熊本センター」が入居するカーリノ大通。同センターはインターネット関連会社と自動車メーカー系金融会社をクライアントに持ち、総勢約500人のスタッフが顧客からの問い合わせに対応している



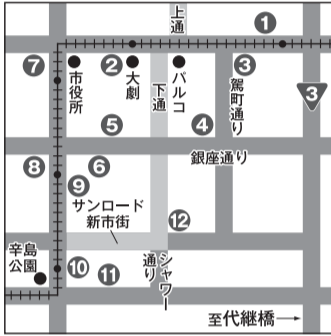
辛島町の日本生命熊本ビルに入居する「JTB熊本リレーションセンター」。これまで地元を中心に約100人を採用しており、4月からは160人体制で本格稼働。13年度までに300人超に増員し、将来的にはグループ最大のコールセンターとなる予定

ここ数年、良質な労働力の確保やオフィスに低価格で入居可能であることを背景に、熊本市中心街へ県外からのコールセンター進出が相次いでいる。
(株)テレマーケティングジャパンが05年に安政町のカーリノ大通へ進出したのを皮切りに、これまで(株)ミスミ、BBコル(株)日本トータルテレマーケティング(株)など、多くの県外企業が中心街へコールセンターを開設した。10年には大同生命保険(株)が中央街で「熊本コールセンター」の稼働を始め、(株)JTBも辛島町の「JTB熊本リレーションセンター」を今年1月から一部稼働開始した。



熊本市タクシー協会

夜間繁華街に集中するタクシーは700台から800台。銀座通り(写真)に並ぶ車両の混雑緩和も課題だ



今回の社会実験では現行の4カ所(②③⑩⑫)に加え、8カ所の乗り場を新設した
①手取教会 ②住友信託銀行 ③鶴屋百貨店 ④ミネ銀座ツインビル ⑤100円パーク ⑥ジャスマックビル ⑦ジブラルタ生命ビル ⑧花畑交番 ⑨フコク生命ビル ⑩熊本東急イン ⑪ハッピー電気商会 ⑫セブンイレブン



銀座通り「ジャスマックビル前」の乗り場で乗客を誘導する警備員。この日は混雑もなく車両はスムーズに流れていた。実験2日目の1月21日午後11時過ぎ

3月にも中心繁華街に乗り場を増設

違法駐車や混雑解消狙い

熊本市タクシー協会は、今年3月をめどに同市中心繁華街にある夜間の共同乗り場を増設する。一帯に集中するタクシーの違法駐車や混雑解消が目的。
従来の乗り場は「住友信託」手取本町(など)4カ所。だが、現状は指定時間外のバスレーンでの駐車や銀座通りへの集中などで違法駐車や混雑が生じていた。協会では1月20日から29日までの10日間、午後8時から午前6時まで現行の4カ所に手取教会(上通町)など8カ所を加えた計12カ所の乗り場で社会実験を実施。車両が集中する銀座通りには3カ所の乗り場を置き、通りを区分けすることで混雑解消を狙った。乗り場9カ所には案内板(60cm×130cm)を設置、乗り場を表記した車内用のステッカーやチラシを街頭や店舗で配布し周知を図った。協会は2月中旬に乗り場ごとの利用台数など実験結果を検証し、3月1日の本スタートを目指している。

Table with 2 columns: Name and Party/Status. Lists candidates for the April 1st election.

4月1日告示、同月10日投票の日程で県議会議員選挙が実施される。熊本市区(旧植木町と旧城南町を除く)には定数16に対して22人が立候補を予定。元職や有力新人の出馬で混戦となっている。前哨戦が始まっている同選挙区の状態をレポートする。

政治 レポート 元職・有力新人の出馬で混戦模様

元職3人が挑戦
現職で引退するのは、自民党の倉重剛氏(当選7回)と中原隆博氏(同4回)、公明党の竹口博己氏(同5回)、無所属の渡辺利男氏(同5回)の4人。
自民党は現職5人を公認、新人1人を推薦。選挙区で最もベテランの村上寅美氏は西部地域の後援会を軸に活動。議長の小杉直氏は警察OB・自衛隊OBの後援会、会長を務める不動産会社などの支援で臨む。馬場成志氏は、東部地区の強固な個人後援会が柱。井手順雄氏は、市西部の個人後援会や漁協関係者などが中心。開業医である藤川隆夫氏は、県医師連盟など医療関係団体が推薦している。倉重剛氏の後継として、長男・力氏が手をあげている。自民推薦で、地元である白山校区や白川校区などで挨拶回りをして地盤固めを急いでいる。
民主党は現職の鎌田聡氏と濱田大造氏を公認。鎌田氏は出身のNTT労組をはじめとした労組が軸。濱田氏は、民主支持層に加え、無党派層に浸透を図って再選を目指す。
公明党は、現職の城下広作氏と氷室雄一郎氏に加え、竹口氏の後継として前田憲秀熊本市議を公認し、3議席を確保する構え。
連合推薦の現職は、平野みどり氏と西聖一氏。平野氏は県教組などの労組、福祉団体、市民団体などが軸。西氏は自治労主体の労組総合選対と地元後援会の二本柱。
前回トップ当選の大西一史氏は先代から引き継いだ地盤に加え、北部などで独自の支持者を開拓している。
元職では、共産党が松岡徹氏を擁立し、議席奪還を目指す。前回次点で落選した荒木章博氏は、地元春日校区や熊本市西部などで活動を活発化。元衆院議員の岩下栄一氏は、一昨年から勉強会などを定期的に開くとともに、支持者の掘り起こしを進めている。



熊本市水前寺の県議会議場

※○の中は当選回数